

社協だより

# かしわ

2021年 秋号 NO.82



「はるかぜ」のフドウ

利用者さんが力を合わせて制作！！

発行者：生坂村社会福祉協議会 TEL 69-3000 FAX 69-3091  
<http://www.ikusaka-shakyo.or.jp/>  
E-mail : info@ikusaka-shakyo.or.jp

印刷：有限会社花岡印刷

 社協だより「かしわ」は、共同募金の配分金で発行されています。

# 社協ってなに？

「毎年社協会費を納めているけれど、社協っていったい何のためにあるだい？」という質問をよくいただきます。当会の事業は多岐にわたり、一度に全てをご紹介できませんので、今回はそのあらましについてお話しさせていただきます。

## 民間の団体です

社協は役場の一部と思われがちですが、民間の団体です。

## 地域の福祉のよろずや

具体的な活動として、地域の方々がふだんの暮らしを営むうえで必要なデイサービス・ヘルパーステーションなどの経営や、みなさまがボランティア活動などに参加するお手伝いをしています。そのほか、時代の変化にあわせてさまざまな仕事に取り組んでいます。

## 福祉の相談は社協へ

新型コロナウイルス感染症により、さまざまな社会のゆがみが一層明らかになってきました。昔なら当たり前だった人と人とのつながりが希薄になり、相談相手がいな

い方も増えています。社協では、専門家や行政などのネットワークを活かして、課題解決のお手伝いをさせていただきます。

### 例えば、こんなことができます。

- ・介護予防の教室に参加したい⇒元気塾・生坂おとこ塾に参加する。
- ・ボランティアをしたい⇒社協ボランティアセンターに相談する。
- ・通院をしたいが車を運転できない⇒福祉有償運送サービスを利用する。
- ・電球の交換ができない⇒生活支援サービス「もりびと」を利用する。
- ・当面の生活費に困っている⇒緊急小口資金貸付などを利用する。

そのほか、困りごとなら何なりとご相談ください。TEL 69-3000

## 赤い羽根共同募金への

### ご協力ありがとうございます

今年も十月一日より赤い羽根共同募金運動として、みなさまにも募金へのご協力をいただいております。

この募金は、地域の福祉を支える大切な資金として活用されています。たとえば、生坂村では、共同募金からの配分金を受けて交通弱者の通院サービスなどに使う車両を購入し、有効に役立てているほか、この社協だよりの発行にも使われています。

また、共同募金は、募金をするだけではなく、地域でボランティアやまちづくりなどをする団体に活動資金が配分されます。現在、左記の配分の申請を受け付けています。

### 「安心・安全なまちづくり活動公募配分」

受付期間：令和三年十一月三十日まで

配分対象：自治会等が区域内で行う防災・防犯

についての啓発活動や研修、防災物品の整備など

配分対象となる活動期間

令和四年四月から一年間

配分の詳細は、

社協事務局まで

お問い合わせください。



## 利用してみませんか？

### 介護予防・通所サービス

人生百年時代ともいわれる昨今、年齢に関係なく、自分にできることを活かしながら最後まで自分らしく生きたいものです。そんな希望のお手伝いをするのが、社協の介護予防・通所サービスです。今回は、それぞれのサービスについて紹介させていただきます。

詳しい内容等は、お気軽にお問合せください。ご利用をお待ちしております。



元気塾(健康体操の場合)

#### ① 元気塾

運動プログラムや手工芸、野外散策などを通じて、楽しみながら体を動かしたり、仲間との交流を行い介護予防を指します。

#### ② 生坂おとこ塾

軽スポーツや料理教室など、男性だけの気楽な雰囲気の中、新しいことにも挑戦していきます。

#### ③ ずくだせサロン

約三ヶ月の期間内に十二回開催。専門家による栄養指導や運動指導などを通じて、生活改善の「コツ」をお伝えします。

#### ④ デイサービスセンター「かしわ荘」

レクリエーションや入浴、リハビリのほか、仲間との交流も楽しめます。また、必要に応じて職員の介助を受けられます。

#### ⑤ デイサービスセンター「はるかぜ」

家庭的な雰囲気の中で、レクリエーションや入浴などを楽しみながら、一日ゆったりと過ごすことができます。

◎元気塾は、デイサービスを介護予防で利用されている方も利用できるようになりました。

お問合せ ☎六九—三〇〇〇



デイサービスセンター「かしわ荘」  
(レクリエーション)



ずくだせサロン(栄養指導)

## フードバンク 食品寄付のお願い

社協では、みなさまのご家庭から余剰食品をご寄付いただき、村内・県内の生活困窮家庭などでご利用いただくフードバンク事業を行っております。缶詰・レトルト食品・カップ麺・お米(2020年産まで)などの食品で、ご寄付いただけるものがございましたら、社協窓口までお持ちください。

(賞味期限が1ヶ月以上ある、未開封、常温保存できるものをお願いします。)

## 令和3年8月大雨災害義援金

募金にご協力をいただき、ありがとうございました。

やまなみ荘では、職員の方の手作りマスクの売り上げを寄付していただきました。

みなさまからの義援金は、日本赤十字社を通じて被災された方々に届けられます。

期 間	義援金額(円)
令和3年 8月~9月	22,677

募金は令和4年3月31日まで行う予定です。

募金箱は、やまなみ荘、道の駅「いくさかの郷」、社協にあります。引き続きご支援をよろしくお願いいたします。

## ご寄付

9月 腰原 初子 様 100,000円

ご厚意は、社協の福祉事業に活用させていただきます。

そのほか沢山のお野菜、お米、果物などをご寄付いただき、心より感謝申し上げます。

デイサービスやはるかぜなどの食事に活用させていただきます、利用者様にも喜ばれております。

## 社協会費

7月にお願いしました社協会費のご報告です。

ご協力に心より感謝申し上げます。

種 別	口 数	金 額(円)
特別会費	18	180,000
賛助会費	42	126,000
普通会費	560	840,000
合 計	620	1,146,000

## 日赤活動資金

5月にお願いしました令和3年度日赤活動資金は、かしわNo.81でお知らせいたしました金額(合計570口・341,059円)を最終的に日赤長野県支部に送金しました。

今年度も多くの方にご協力をいただき感謝申し上げます。

## 表紙の写真

デイサービスセンターはるかぜでは、レクリエーションとして、さまざまな作品制作を楽しんでいます。

今回は、秋に合わせてカラフルなブドウ棚ができあがりました。

## 編集後記

今号より、情報をいち早く皆様にお届けするため、毎月偶数月に発行する予定です。その分ページ数は少なくなりますが、気軽に読んでいただければ幸いです。

ご意見、取材依頼などございましたら、ぜひお知らせ下さい。